



株式会社セゾン情報システムズ
HULFT 事業部 ヘルプデスク

タイトル

Windows XP Service Pack 2 環境下での利用について

～ 「HULFT PPP クライアント / BB クライアント」編 ～

ドキュメント情報

技術文書番号： 1-BBCx-PC001-01
OS： Windows XP Professional SP2
Windows XP HomeEdition SP2
製品名 / バージョン： HULFT PPP クライアント Ver.5
HULFT PPP クライアント Ver.6
HULFT BB クライアント Ver.6
最終更新日： 2005/02/04

1 はじめに

Windows XP Service Pack 2 (以下 Windows XP SP2) の Windows ファイアウォールには、セキュリティ強化のための大幅な変更が加えられています。また、Service Pack 2 のインストールでは、Windows ファイアウォールが既定で有効に設定されます。

この変更は、HULFT PPP クライアント / BB クライアントの動作に影響を与えますが以下の設定を行うことで、Windows ファイアウォールを有効にしたままで HULFT PPP クライアント / BB クライアントを利用することが可能となります。

なお、Windows XP SP2、Windows ファイアウォールの詳細については、マイクロソフト株式会社様にお問合せください。

2 HULFT PPP クライアント / BB クライアントの利用方法

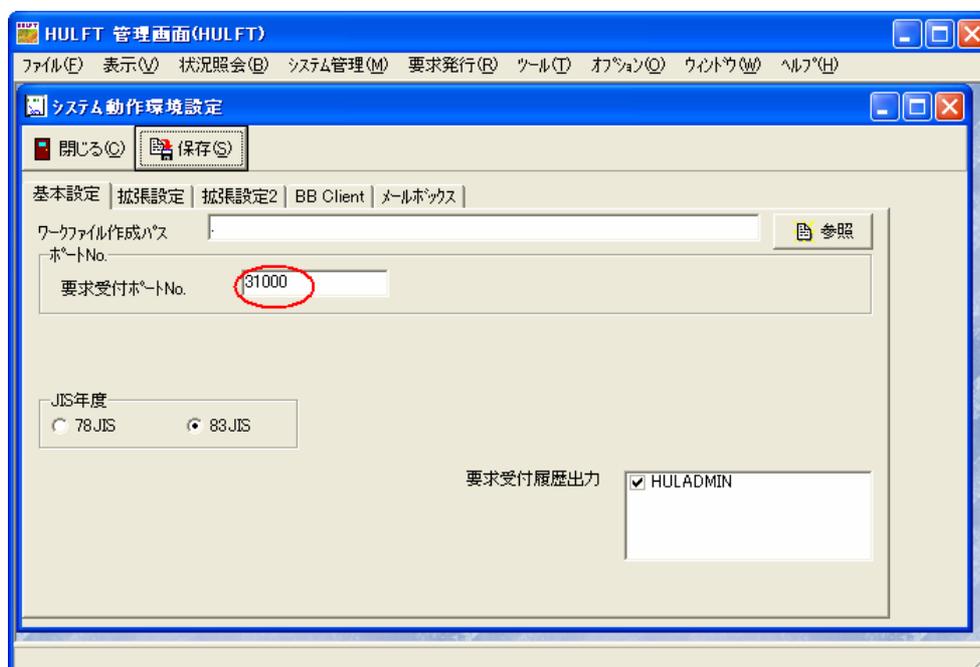
Windows XP SP2 環境下で HULFT PPP クライアント / BB クライアントを利用する場合、以下の設定を行ってください。

【備考】この文書では「HULFT BB クライアント Ver.6.2」の画面を使用しています。お手持ちの製品の画面に置き換えてお読みください。

2.1 ポート番号の確認

HULFT 管理画面を起動し、「システム管理」メニューから「システム動作環境設定」を選択します。

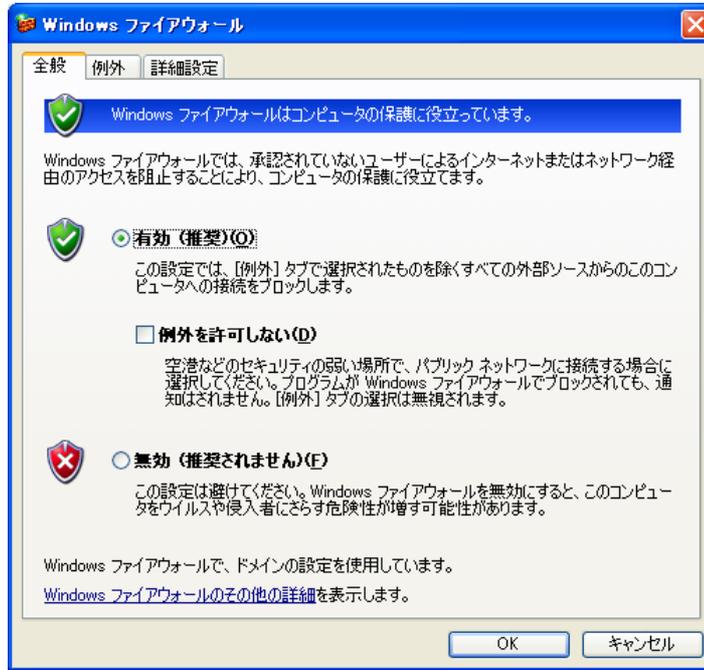
「基本設定」タブの「ポート No.」の「要求受付ポート No.」の設定値を控えます。



画面 2-1 システム動作環境設定画面「基本設定」タブ

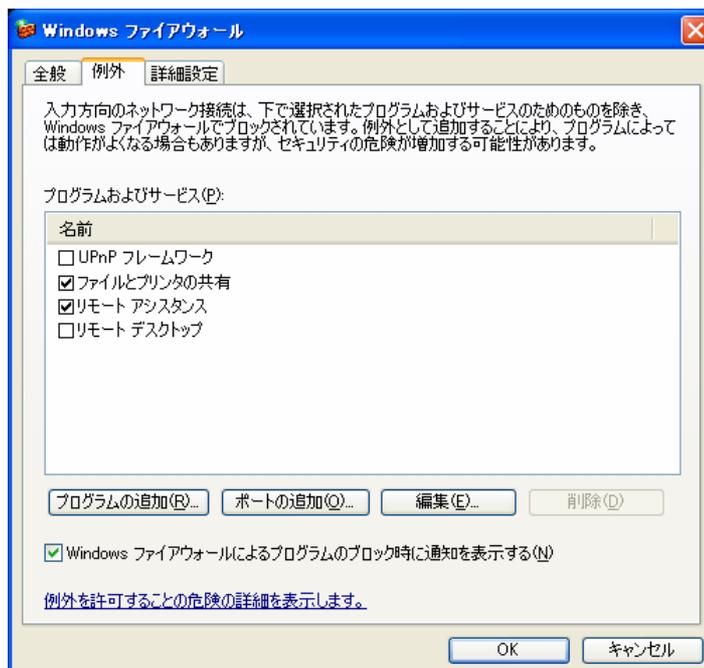
2.2 Windows ファイアウォールの設定

Windows のコントロールパネルを開き、「セキュリティセンター」 - 「Windows ファイアウォール」を選択します。既存で「有効」にチェックがされていることを確認します。「無効」になっている場合には特に設定の必要はありません。



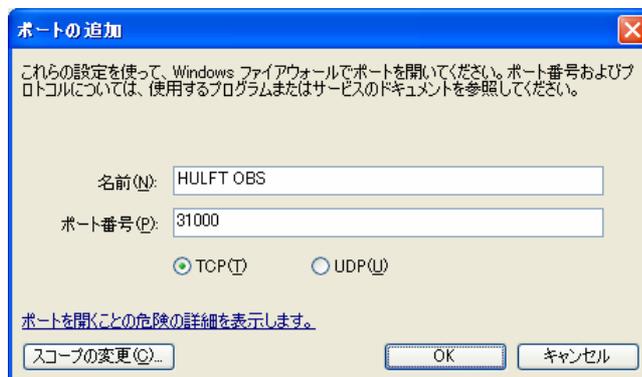
画面 2-2 Windows ファイアウォール画面「全般」タブ

「例外」タブをクリックし「ポートの追加」を選択します。



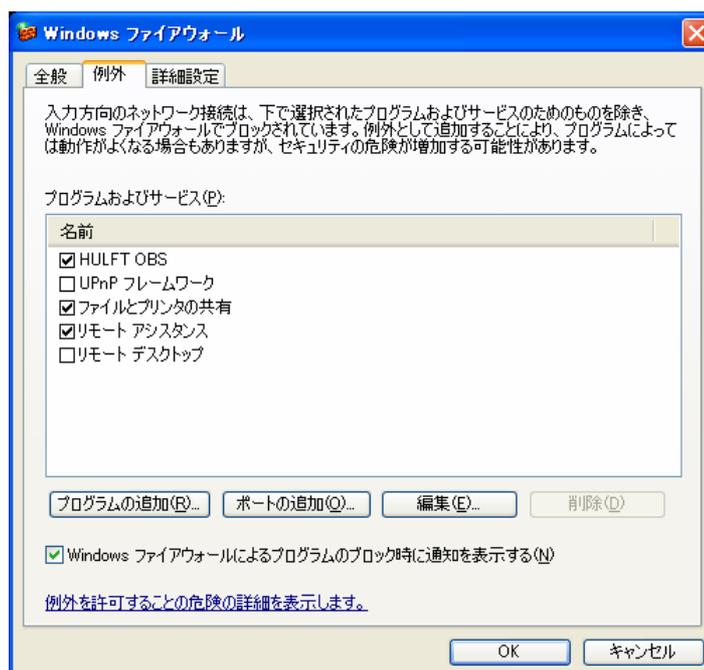
画面 2-3 Windows ファイアウォール画面 設定前の「例外」タブ

「ポートの追加」ダイアログが表示されるので、「名前」に任意の名前を登録し、ポート番号に「2.1 ポート番号の確認」で控えた「要求受付ポート No.」を入力します。



画面 2-4 ポートの追加画面（要求受付ポート No.）

以上で作業完了です。登録した名前にチェックがついていることを確認して HULFT PPP クライアント / BB クライアントの動作確認を行って下さい。



画面 2-5 Windows ファイアウォール画面 設定後の「例外」タブ